

平成26年  
4月

第115号

三鷹市市民協働センター

# ニュースレター

三鷹市市民協働センターは市民活動を応援し、民学産公の協働によるまちづくりを推進する施設です。

見に来てね!



開催します



## 日米の子どもたちによる国際交流絵画展 Project 2014

2014年 4月16日(水)

～ 5月6日(火)

2012年春、日本からの桜寄贈100周年を記念してワシントン桜祭り会場と三鷹会場で「日米の子どもたちによる国際交流絵画展」が開催されてから、今年で3回目の開催となりました。

今年も三鷹市市民協働センターとMISHOP（公益財団法人 三鷹国際交流協会）の2会場で、日本の小学生の描いた絵を、アメリカの子どもたちの絵や写真とともに展示します。お気軽にご来場ください。



昨年作品

- ◆会場：①三鷹市市民協働センター 9時～21時30分  
(火曜日休館、但し祝祭日は開館し、直後の平日を休館とします。)  
(三鷹市下連雀4-17-23、電話：0422-46-0048)
- ②MISHOP（公益財団法人三鷹国際交流協会）  
9時30分～17時（日曜日・祝日休館）  
(三鷹市下連雀3-30-12、電話：0422-43-7812)
- ◆主催：友情の桜とカルミアの会
- ◆共催：NPO法人みたか市民協働ネットワーク  
公益財団法人三鷹国際交流協会

### 利用者懇談会を開催しました

3月20日(木) 開催

利用者の皆さんの率直な声を聞くことができ、とても有意義な意見交換の会になりました。

- ♪たくさんの人と出会える場所で楽しい。
- ♪もっと若い世代の人たちが気軽に入れる工夫があるとよい。
- ♪大学生が参加してくれるようになったのは、とても良いことである。今後も温かく見守ってほしい。
- ♪まちづくり川柳コンテストを三鷹発で行ってはどうか。

その他たくさんのご意見をいただきました。

### センターの花の植替えをしました 3月8日(土)

径3cmほどの中心が黄色く真っ白い花びらが印象的な「ノースポール」と、春の定番、ヒオラを植えました。日差しにわずかな春を感じるができるものの、まだ寒さの居座る中、ボランティアの方と市役所からの助っ人、センターの職員で作業をしました。

センターでは、季節ごとの花の植替えを年4回行いますが、お手伝いしていただけるボランティアの方を随時募っています。興味のある方は、センターまでご連絡ください。



(1ページ)開催中「日米の子どもたちによる国際交流絵画展」、利用者懇談会を開催しました、センターの花の植替えをしました(2ページ)(3ページ)開催しました「がんばる地域応援プロジェクト発表会」(4ページ)チョコとあっぷるむ、助成金等の情報

## \*おやこでよって\*

月日	テーマ・内容	参加費	担当	定員
① 4月3日(木)	ママ護身術エクササイズ (キック編) ～だっこしたまま、強いママ～	1,500円 (防犯ホイッスル付き)	オフィス Erico-I	6組
② 4月10日(木)	ママと英語であそぼ(1歳～2歳) ～リズム英語で始めてみよう～	2,000円 (洋書絵本付)	NPO法人子育てコンビニ	10組
③ 4月14日(月)	産前・産後の骨盤ケア ～知って整え、お産も産後も安心～	2,000円 (さらし付き)	はっぴいまむず (助産師・整体師 谷京子)	8組
④ 4月17日(木)	「ベビーサイン」で楽しい子育て♪ ～赤ちゃんとお手でコミュニケーション～	1,500円 (ご夫婦参加同額)	Mama & Baby	8組
⑤ 4月19日(土)	スリングなど抱っこ用品の選び方、使い方 ～赤ちゃんにやさしい抱っこを考えよう～	1,500円	はっぴいまむず	8組
⑥ 4月21日(月)	一緒におもちゃを作りましょう☆ ～身近な材料をつかって創造力を育もう～	1,000円 (作るお子様一人)	ベネシス教育研究所	6組
⑦ 4月24日(木)	子育てを楽しむために ～子育てコンビニメンバーとお茶をしましょう～	300円	NPO法人子育てコンビニ	10組
⑧ 4月28日(月)	ヨガママで骨盤調整(ハイハイ前) ～ママのためのヨガで骨盤整えリラックス～	1,500円	花莉屋	8組

※時間：午前10:30～正午

- 【対象】 おおむね0～3歳のお子さんを持つ親子  
及び妊娠中のお母さん  
(講座ごとに異なりますので、ご確認ください。)
- 【会場・申込み・問合せ】 三鷹市市民協働センター  
※お持ち物など詳しい内容のお問い合わせ  
お申込みは当センターへ

- ★全回、保育はありません。(先着順)
- ★お車でのご来場はご遠慮ください。
- ★キャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。
- ★お菓子とお茶をご用意しています。
- ★ご夫婦参加の場合は申し込み時に必ずお申し出ください。



### 助成金等の情報

三鷹市市民協働センターに持ち込まれた情報およびセンターで収集した情報を、市民活動に関わるものを中心に紹介しています。詳細につきましては、各ホームページ上などで直接ご確認ください。

- ◆子育て家庭支援団体に対する助成活動  
(お問合せ先：(社)生命保険協会「子育て家庭支援団体に対する助成活動」事務局)  
<http://www.seiho.or.jp/> TEL:03-3286-2643 (締切日：2014年4月30日)
- ◆平成26年度キリン・子ども「力」(ちから)およびシルバー「力」(ちから)応援事業  
(お問合せ先：公益財団法人 キリン福祉財団事務局)  
<http://www.kirinholdings.co.jp/foundation/> TEL:03-6837-7013 (締切日：2014年4月30日)
- ◆平成26年度社会福祉振興助成事業(WAM助成)  
(お問合せ先：独立行政法人福祉医療機構 助成事業部助成振興課)  
<http://hp.wam.go.jp/> TEL:03-3438-9945 (締切日：2014年4月30日)
- ◆公益信託 オラクル有志の会ボランティア基金  
(お問合せ先：三菱UFJ信託銀行株式会社 リテール受託業務部 公益信託グループ)  
<http://charitable-trust.oracle.co.jp/> TEL:03-6250-3254 (締切日：2014年5月20日)

### ■町会・自治会へ ニュースレターを配付させていただきます

協働センターニュースレターは町会・自治会など地域自治組織に無料で配付させていただいております。組織単位でご連絡いただければお届けさせていただきます。町会・自治会の皆様、ぜひご検討ください。

### Editor's note.

編集後記：春が来ました(人生の、ではなく文字通り気象上の)。一見この春の陽気は、人間を幸せな気分にくれそうなのですが、気候や生活の様々な変化で、気分が落ち込む春うつ発症の季節でもあります。その予防のためには、朝型生活、整理整頓、身体を動かすなどが有効な手段とのことです。心がけはあるものの、なかなか実行できないのが現状です。しかし、これまでの生活態度でも春うつになつたことがないので、現状維持でも良いのかなと、相変わらずぐうたらな生活を送る予感の今日この頃です。

### ◆ニュースレター配布場所◆

るま・ばぐーず、グラナダ(レストラン)、ハローワーク三鷹、NPO法人子ども生活・ゆめこぼ、各コミュニティ・センター、各市政窓口、各図書館、その他市の公共施設、近隣市区の市民活動支援センター

発行日：平成26年4月1日  
発行：三鷹市市民協働センター  
(指定管理者：特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク)  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-17-23  
TEL 0422-46-0048 FAX 0422-46-0148  
メール：kyoudou@collabo-mitaka.jp  
ホームページ：<http://www.collabo-mitaka.jp>  
開館時間：9:00am-9:30pm 受付時間：9:00am-9:00pm  
休館日：火曜日(祝祭日は開館し、直後の平日を休館とします。)

### 新川五丁目2号棟自治会 花とダンスの元気クラブ



年長組の保育園児と70歳以上の独居者が協働で花を植え、日々鑑賞管理を行うことで、独居者に保育園児との交流による生きがいを感じてもらおうとともに、保育園児たちに思いやりの心が宿ることを目的とする。さらに、参加できなかった方へ花を届けることで、健康状態の確認を行うことができる。

また、集会所に等身大鏡を設置し、小学生の保護者と協働でキッズダンス教室を開催することで、子どもたちに健康と団体活動の大切さを学んでもらう。

### 井の頭一丁目町会 空き家見守り事業



町内会の空き家を見守り、不審者の侵入などを未然に防ぎ、安全安心な地域を作る。

また、空き家の見守り活動を行うことにより、シニア世代の活躍の場になるとともに、町会の担い手となる人財の発掘にもつながる。さらに、空き家の調査を通して地域住民同士の交流を活性化させ、「自分たちの町は自分たちで守る」という防犯意識の向上を図る。

### 向原あゆみ会 集会所から広がる地域交流



自治会エリアにある集会所を活用して、カラオケや日本舞踊、手芸（刺子）等を行うことにより、地域住民相互の交流を図り、災害時に協力し合える人間関係を構築できる。

また、近隣老人施設で日本舞踊の発表会を行うことで、自治会員の生きがいにつながり、さらに地域の方との交流にもつながっていく。

### 井之頭町会 井之頭町会発！みんなで防災！



町会員、町会未加入者に井の頭の防災について考える会の開催を呼びかけるとともに、あらゆる人たちの声に耳を傾け、従来通りの形にとらわれない防災訓練を実施することで、地域のつながりを深め、さらには新規会員の獲得、地域の活性化につながる。

また、オリジナルの防災マップの作成や、防災訓練、学校との連携についてなど、井之頭町会独自の防災対策を具体的に進め、地域の自助、共助、孤立化防止につながる。

### ラトリエ吉祥寺管理組合 ふれあい夏祭り



“地域とのふれあい”をメインテーマに掲げ、牟礼コミュニティ・センターで活躍する子どもダンスサークルや市立第六中学校吹奏楽部を招き、マンション敷地内の中庭を活用したりした夏祭りを開催する。

また、隣接する介護マンションの住民を招待するなど、マンション住民だけでなく、他団体との地域交流の場を創出し、閉鎖的になりがちな大型マンションの地域社会への新しい関わり方として、今後の地域活性化につながる。

### 親生会 憩いのスペース、カフェ・サロン開設



集会所を、気軽に立ち寄りお茶やコーヒーとともに歓談できる場所に変えることで、自治会員に「交流の楽しさや笑顔でいることが活力と連帯感を生む重要な要素である。」という意識改革を図る。

また、集会所を「憩いのスペース」にすることで、孤独・孤立の流れを止めることができ、地域の活性化につながる。

### 上二町会 上二町会家族ぐるみ大運動会



幼児から高齢者まで150名近い会員が運動会に参加することで、会員同士の交流やコミュニティの向上、さらに健康増進につながる。

また、たくさんの会員が集まる本運動会の昼休憩時間を利用して、交通安全講習会を行うことにより、交通ルールの知識の向上が図られるとともに、交通マナーの向上につながる。

# がんばる地域発表会

開催しました

応援プロジェクト

2月8日(土)開催  
参加人数 54人

町会や自治会等の地域自治組織が、地域の課題解決や、活力を生み出す活動に取り組み事業などに対して市が助成する「がんばる地域応援プロジェクト」の助成を受けた団体が、その取り組みを発表しました。

事例集をセンターで配布しています。

### 下連雀若葉会 下連雀若葉会「こども祭」(俺たちのエプロン)



次世代の町会活動の担い手である子どもたちが、町会活動に積極的に参加できる雰囲気醸成し、こども祭への参加が楽しいものであったと思い出に残る“ふるさとづくり”活動をすることで、将来の町会発展への土壌づくりになる。

また、町会のシンボルカラーである緑色にロゴの入ったエプロン及び三角巾を着用することで、それぞれが連帯感をもって活動に取り組めるような雰囲気醸成される。

### 災害時要援護者支援事業

#### 東野会 東野会防災訓練(要援護者避難訓練)

可搬ポンプの操作方法を中心とした実践的な防災訓練や炊き出し訓練を実施する。

災害時における要援護者を把握し、災害発生時に車椅子リヤカー等で迅速に対応できる体制を作り、また、町会役員、防災役員及び地域住民とのコミュニケーションをより深め、顔の見える関係を構築する。



#### 新川五丁目2号棟自治会 災害時要援護者のための防災訓練

災害が発生した場合の消火訓練・簡易救急医療訓練・炊飯訓練・搬出訓練(ハンディ担架、車椅子等)等を実施する。

災害時要援護者と支援者のマッチングを行うことで、両者のコミュニケーションが良好になり、また、様々な訓練を複数回実施することで、地域に安心感が生まれ、お互いの絆をより深めることができる。



#### 牟礼西組町会 災害時要援護者支援事業

町会内の老若男女の安全・安心を推進する中で、従来から実施している町会事業「ふれあいの和」の活動を通じて、地域防災のあり方を啓発しつつ、災害時要援護者支援体制を確立する。

また、年間事業における啓発活動を通じて、非常時だけでなく平常時からの地域における「自助」、「共助」による災害時の連携体制を確立する。



#### 野崎鷹野会 防災支援

三鷹市防災課の指導のもと、会員に対して防災に関する講習会を実施することにより、会員の防災に関する認識を高めるとともに、自治会員同士のコミュニケーションをより深めることができる。

また、防災用品を備蓄しておくことで、災害時における「自助」の意識付けと手助けになる。



#### 井の頭玉川町会 災害時要援護者支援事業

災害が発生した場合に備えて、防災訓練を実施する。  
昨年度までは、車椅子やヘルメットを使用した防災訓練を実施していたが、今年度は、担架を使用した防災訓練を実施することで、災害時での救助効果や「共助」の意識をより高めることができる。



#### 都営上連雀一丁目アパート親和会 災害時要援護者支援事業

徒歩で指定の避難所(四中)まで向い、その避難経路や道中の危険場所を確認することで、非常時に慌てずに避難所まで避難できるようになり、会員同士の協力体制も整う。

また、集会所で市役所防災課による防災に関する講習会を実施することで、会員の防災に関する認識を高めるとともに、非常時に何をすべきなのかを日頃からしっかりと心に留めておくことができる。

